

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 若藤 靖子

評価完了日 平成 19 年 5 月 28 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月19日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104274		
法人名	(有)レディースファミリー		
事業所名	グループホーム朝生田の里		
所在地	松山市朝生田町4丁目10-25 (電話) 089-998-3344		
管理者	若藤 靖子 坂本 美江		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月8日	評価確定日	平成19年7月19日

[情報提供票より] (平成19年5月24日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年8月27日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 15.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	500円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成19年5月24日現在)			
利用者人数	18名	男性 10名	女性 8名
要介護1	3名	要介護2	5名
要介護3	3名	要介護4	4名
要介護5	2名	要支援2	1名
年齢	平均 76歳	最低 61歳	最高 88歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	(あり)・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、透析治療を受けておられる利用者が多くおられ、体調のことに配慮しながら利用者の生活を支えておられる。
 近くの川沿いの土手や公園への散歩、外食へ出かけておられる。
 今後、地域とともに災害時の訓練を行ったり、事業所では、夜間帯の訓練を検討されていた。又、災害時には、事業所が地域の方達の避難場所として協力できるのではないかと考えておられた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	・ケア面や自立支援への取り組みの充実を図るため、センター方式の書式の活用について勉強され、採り入れておられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	・すべての職員で自己評価に取り組み、管理者と施設長がまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	・和やかな話し合いが出来るよう、春にはお花見を兼ねて会議を開催された。避難訓練を地域とともに行うことの提案があった。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	・事業所では、ご家族に対して「どのような意見でも気軽に言って貰いたい。苦情、要望こそ、このホームがより良くなる機会と思っている。」とお話されている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	・町内会行事に参加されており、事業所主催の夏祭りには地域の方達が大量来て楽しまれている。事業所の近くにある施設の運動会のお手伝い等もされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			利用者の目線で理念をつくり、明文化している。		
			(外部評価)		
			事業所の理念の3本柱の一つに「開かれたホームを目指し地域の人と共に生活する。」を掲げ、地域行事等に積極的に参加されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念に基づいて、介護・支援のあり方について話し合い実践している。		
			(外部評価)		
			新人職員の研修の一つとして理念の学習に努められ、理念が職員に浸透するよう取り組まれている。又、ミーティングの中でも話し合い、日々の実践につなげておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進委員会を実施し、理解してもらえよう取り組んでいる。 家族には、入居時及び面会時に説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 玄関周りや建物も周囲に草花を植えたり、手作りの表札をおいて親しみやすい工夫はしている。散歩のとき挨拶をしたり、声をかけたりしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) お花見、お月見など自治会や他施設主催の行事等への参加により交流するように努めている。 (外部評価) 町内会行事に参加されている。事業所主催の夏祭りには地域の方達が大勢来て楽しまれている。事業所の近くにある施設の運動会のお手伝い等もされている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進員会議を通して認知症に関して、地域の相談を受け付けることができるようにしている。災害時の対応に付いても、話し合いを持っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己、外部評価の意義は理解している。前回指摘項目は改善するよう取り組んでいる。 (外部評価) すべての職員で自己評価に取り組み、管理者と施設長がまとめられた。ケア面や自立支援への取り組みの充実を図るため、センター方式の書式の活用について勉強され、取り入れておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進委員会で、利用者の状況や今、取り組んでる事等を随時報告したり、話し合いが出来ている。議事録は、職員全員が閲覧出来るようにしている。委員の方たちには郵送している。		
			(外部評価)		
			和やかな話し合いが出来るよう、春にはお花見を兼ねて会議を開催された。災害時の避難場所としての受け入れや、今後、地域とともに避難訓練を行うことの提案も頂いている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			松山市の開催する会議や研修に参加している。また、地域包括支援センターとも交流を図り質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、市の担当者から高齢者虐待防止法のことについて説明を受けておられる。又、地域包括支援センターの業務の説明がなされ、参加いただいた方とともに知識を深めておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			制度の内容については理解できている。研修に参加した上で、ミーティング等で職員の理解を深め、必要な場合は活用できる状態である。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待について、職員全員で話し合い、虐待防止に努めている。県社協研修等にも職員代表3名が出席、内容をショートミーティングで伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 説明は十分に行い、理解、納得を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見箱を各階に設置している。利用者が話しがしやすい雰囲気を作るよう勤めている。不満、苦情があれば、苦情窓口に申し出て頂ければ、その都度対応出来るようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時等に詳しく説明、報告している。 (外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、その際に日々のご本人の様子をお伝えされており、ご本人からの預かり金の確認等もしていただいている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し、内容について確認している。また、運営推進会議、家族会により不満等を表せる機会を設け、あれば改善している。 (外部評価) 事業所では、ご家族に対して「どのような意見でも気軽に言って貰いたい。苦情、要望こそ、このホームがより良くなる機会と思っているので。」とお話しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のミーティング、週3回のショートミーティング時を中心に話し合う機会を設け、良い提案は反映させるようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 施設長が必要時、勤務調節を行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動はスムーズにできている。利用者さんが不安にならないように配慮している。		
			(外部評価) 事業所の全職員がすべての利用者のことを知り、声をかけておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修や自己研鑽は大いに推奨しており、希望した研修は原則受講してもらい、受講者による職員への講習内容の報告、説明を行っている。OJTは常時実施。		
			(外部評価) 新人研修を始めとする内部研修や外部研修の受講等、職員は、目的を持って意欲的に取り組んでおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			管理者や施設長等は、他の施設やグループホーム連絡協議会等が主催する勉強会に出席し、意見交換を行っている。		管理者の参加は多いが、他の職員の参加が少ないので啓発する。
			(外部評価)		
			管理者や施設長は、ケアプランの勉強会等に参加され、他の事業所とともにケアの質向上に向けて取り組まれている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			なるべく職員がストレスをためないように配慮している。個人面談や親睦会等を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修等に参加し、レベルアップを目指し、前向きに仕事が出来ているか等職員が働きやすい職場作りに努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人が不安に思っている事や求めている事等、話す機会を多く持ち、お互いの信頼関係の構築に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の表面的な言葉だけでなく、その真意を汲み取るにより信頼を得るように心がけ、求めていることに答えるように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) アセスメント調査を行い、課題を明らかにしてケアサービスに努めている。		木目細かなケアプランを作成し、最適な支援、対応に努める。ケアカンファレンスを随時実施し、実践状況を確認する。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 個別のケースについて、いろいろな話を聴きながらのサービス開始に勤めている。また、体験入所や、お茶の時間に参加していただくなど安心していただく工夫をしている。 (外部評価) 隣接の医療機関で人工透析を行っている方の入居が多く、入居前に、事業所で他の利用者と一緒に過ごしていただくような機会作りや、泊まっていただく等、馴染みながらの利用となるよう取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の生活層を把握し、趣味や特技を生かす場を提供することを通じて、職員や利用者が個々を尊重し、支えあう関係作りができるよう勤めている。 (外部評価) 利用者との会話の中から、職員が教えられるようなことがある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族会・イベントを通じ利用者を共に支えられるような個別の対応ができています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族に行事等への参加を呼びかけ、疎遠にならないようより良い関係が継続できるよう支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人が面会に来やすい雰囲気作りに気をつけています。また家族や友人、知人の方へ行事参加のお願いをしています。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が個別性や関係性を理解して強者や弱者が出来ないように対応している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所された後、必要な場合は手紙・電話等で交流をもっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々のかかわりの中で、個々の希望、要望の把握に努め対応している。		
			(外部評価)		
			利用者との会話の中などから、思いや希望の把握に努めている。		透析治療を受けている利用者が多いため、どうしても日頃のケアが看護に偏りがちになる傾向がある、と事業所自身で感じておられる。今後、利用者個々の生活歴を活かし、楽しみごと等の支援などにもさらなる取り組みが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			センター方式を一部取り入れ、本人、家族等より様々な角度からの把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			ミニカンファレンスやミーティング時に、職員間で個々の情報を集約し共有する事で総合的な把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			担当医、管理栄養士、理学療法士を含めた全職員によるミーティングやショートミーティングを実施し、意見交換を行いきめ細かなケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			全職員で話し合い、計画を作成し、ご家族の来訪時に意見を聞くようにしておられる。ご家族が見たとき、理解しやすいように専門用語等は使わないようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			各担当者が利用者状態の変化に応じ、随時、適宜行っている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月～6ヶ月での見直しを行っている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			随時ミーティングを行い、順次導入しているセンター方式を生かしながら、情報を共有し、実践し、必要時は計画の見直しも行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療分野についての機能性を十分に活かし、柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			担当医、看護師、管理栄養士と気軽に相談できるようになっている。隣接の医療機関は、誤嚥性肺炎等での入院の受け入れも可能となっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員、地域ボランティアと協力しながら、利用者との交流を持っている。担当消防署（松山南）とは防火訓練を通して災害時の対応について随時指導を受けている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在は、利用者さんからの要望がないのでしていないが、要望があれば、随時対応を行っていく準備は出来ている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議での交流はあるが、現在は特に地域包括支援センターとの協働はしていない。必要時には連携して協働していきたい。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的な受診、緊急時の対応は提携循環器科内科病院と医療連携し適切な医療を受けられるようにしている。また、必要な場合は、日赤等の総合病院や、近隣開業医からも十分な医療を受けられる体制である。 (外部評価) 目の不自由な方等の受診は、ご家族やガイドヘルパーが同行されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要時いつでも相談できる。診断、治療も随時受けもらえる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携の特色を活かし、日々刻々と報告、連絡、相談し、健康管理、医療活用ともに十分できている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 連携病院、また連携病院を通じた他病院とも万全の体制である。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療機関の主治医を交え、施設と本人や家族も含め終末期について話し合いが出来ており、方針も共有している。 (外部評価) 隣接の医療機関と連携を図り、急変時、看取りについて主治医を中心にご本人主体で判断する方針となっている。又、ご家族の希望の把握に努めておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療機関との話し合いはできており、終末期のチーム支援の体制は十分にできている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 転居時は看護・介護添書を送り、情報交換を十分行い、ダメージの防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>理念において尊厳の保持を掲げ、言葉かけ、対応には 十分配慮している。また、個人情報の取扱いには細心 の注意を払い漏洩のないようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>通信の写真は、ご家族の同意を得て載せておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自己決定できる人は、本人にさせていただき、出来ない 人は自己決定できるように支援している。押し付けで なく本人が選択できるように支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人のペースにあわせ、その人らしい暮らしが継続で きるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>一人ひとり希望、要望は違っているという認識のも と、ご本人、ご家族から情報を収集しながら、支援に 努めておられる。目の不自由な方は、ガイドヘルパー を頼み外出等、積極的にされていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えの服も、出来るだけ本人に選んでいただき、身だしなみにも気配りするよう心がけている。理・美容は本人の希望を聞いて行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 透析者が多いため、塩分・水分等の制限があり、希望通りの食事には、なかなかできないが、皆で食事の時間は、楽しい会話をしながら、明るい雰囲気を楽しめるようにしている。 (外部評価) 食事時間、職員も一緒に食事をしながら、会話が弾んでいる様子が見えた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 透析者が多いため、嗜好品も希望通りには行えていないが、おやつはなるべく手作りのおやつを作って、楽しみの時間が持てるよう心がけている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その日その日のスタッフが協力し合い、タイミングを見計らって誘導している。排泄のパターン・習慣は理解できており、その人のペースに合わせた排泄の声かけをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望に沿いながら身体の状態に合わせた入浴の機会を提供出来ている。本人の希望により入浴介助をし、長湯したい人に対しても、その人のペースに合わせて、介助を行っている。		
			(外部評価)		
			透析治療を受けない日や体調のことに配慮し、入浴をすすめておられる。入浴の度に新しいお湯に入れ替え、入浴されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			施設のスケジュールに縛る事無く、日中の活動様子や、心身状態に合わせて、自室で自由に休息したり、眠れるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			散歩等の機会を通して、気晴らしできる環境を作っている。その人の力に合わせ、裁縫が得意な人に対して、素材や道具を提供したり、花が好きな人には花の種を植えたり、水をやってもらったりしている。		
			(外部評価)		
			居室で横になってテレビを見ることや囲碁、将棋、カラオケ、散歩、裁縫、刺繍、園芸、洗濯物畳みや花を生ける等、楽しみごとを支援しておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			その人のレベルに応じて、本人がお金を所持している。やや管理が困難な入居者にも、買い物に出かけた際、お金を持つ機会をもってもらい買い物をしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人で戸外に行ける方はいないため、できるだけ散歩に誘うようにしている。出たがらない方も無理強いせず、本人から自発的に行こうかと言えるような環境作りを心がけている。 (外部評価) 体調等に配慮しながら、近くの川沿いの土手や公園への散歩や外食へ出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 本人の希望を通して、買い物や外食など出かける機会を作っている。また、家族やガイドヘルパーとも協力し外出の希望にそえるように支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は各部屋に設置。電話をかけるのを手伝ったり、依頼されれば手紙の代筆をしたり、読んだりしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 特に時間の制限なく面会者と入居者が関わりを持てるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 徘徊の状態にもよるが、鍵をかけないようにしている。徘徊が多いときには見守りを心がけ 拘束しないケアに取り組んでいる。ベッド柵の使用も本人が移動時に持つことが出来る程度の、最小限のものにしている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、居室ともに鍵をかけることは一切していない。見守りや付き添いで、自由を束縛せず安全を守るケアをスタッフが理解のうえで取り組んでいる。 (外部評価) 事業所では、高齢者虐待防止法の研修会を受講され、鍵を掛けないケアの大切さについて学び、実践してもらわれる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフ間で協力し合い、居場所の確認を、夜間は巡回時に物音に注意するなど、業務の中に取り入れている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品を使う際には、スタッフが見守ることによって安全を確認している。また、注意の必要なものがどこにあるのかスタッフ同士確認している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) その人の状態にあわせた見守りをしているが、それでも転倒などインシデントが起きる。事故再発防止のためにインシデント対策委員会を作り、状況を分析し、解決策を話し合い、実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勤務シフトに必ず看護師が配置されていて、万全な体制を取っている。(緊急連絡網も整備)応急手当等の訓練も随時実施。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に防災訓練を行っている。その際にスタッフ間で危機管理の方法や避難方法を話し合っている。地域の方たちへの協力もお願いしている。(特に夜間) (外部評価) 隣接の医療機関と合同で年二回、消防署の協力を得て、避難訓練を実施しておられる。災害時の行動マニュアル、緊急連絡網も整備されている。		今後、地域とともに災害時の訓練を行ったり、事業所では、夜間帯の訓練を検討されていた。又、災害時には、事業所が地域の方達の避難場所として協力できるのではないかと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) その人の状態のリスクに対して、家族と情報交換し理解を得るよう話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者一人一人の体調をスタッフが把握し、変化や異常はすぐ担当医に報告している。連携医療機関に佐藤循環器科内科があり、急変に対しても早期に対応できる体制がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬の内容確認は申し送りや薬ノートをつくり、スタッフ同士が確認できるようにしている。内服してからの状態変化なども気をつけて観察し、担当医と情報交換している。また、かかりつけ薬局から薬の内容の詳しい説明もうけている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 飲水制限があるため、便秘しやすい状況であるが、繊維質食物の摂取、散歩やホーム内で身体を動かすなど、薬だけに頼らない便秘予防の働きかけを行っている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 口腔ケアは当たり前のことと徹底し、業務の中に取り入れ実行している。また自立している人への声かけもしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 一人一人の飲水量・食事内容は理解できており、管理栄養士の指導のもと、栄養摂取、水分確保の支援は万全である。 (外部評価) 水分や塩分についても摂取制限があり、制限を守れるよう工夫されている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 担当医や管理栄養士からの感染症予防、対応の指導があり、またマニュアルも作成し感染症予防に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>冷蔵庫内やキッチン周りは特に清潔を保てるよう常に清掃・管理している。食材の管理も万全。調理方法も加熱したものを中心に提供。調理前の手洗いも徹底している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>天気の良い日は開放しており、いつでも気持ちよく訪問できるようしている。玄関周りも季節感を出す工夫をしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>スタッフ間でも注意し合い、不快な音、匂い、光が出ないように配慮。風通しの良い快適な空間作りに努力している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共同空間は清潔に整えられていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングの席の配置などにも気配りし、中庭や玄関にベンチを設置、入居者にとって居心地の良い空間を大切にしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人や家族の希望に沿いながら、自室の環境作りを支援している。		
			(外部評価)		
			居室に畳を敷き休まれる方や、小さな家具、趣味の道具、ご家族の写真、書籍類等を持ち込まれている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			清掃時や、排泄物取り扱い時には、注意して換気を行っている。また冷暖房使用時も、過ごしやすい温度であるように調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			椅子の配置や手すりなど利用してもらっている。車椅子が安全に動かせる空間も確保できている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			Nsコールや声かけ・車椅子移動等、見守り支援に心がけ、必要以上の援助はしないよう心がけている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			散歩や憩いの場としてベンチや花を配置している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思い、願いは時の流れや体調の変化とともに日々変化しており、また、職員への信頼度とともに話していただける内容の深さも変わってくる。これらの意向を敏感に汲み取りながらそれに沿ったケアの実施を心がけている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	明るく風通しの良いリビングを中心に、昔の思い出や、今のお気持ちなどを落ち着いた雰囲気の中で話したり、散歩途中の公園などで四季を感じながらのんびり過ごすことも多い。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	透析治療(週三回約四時間)以外の時間は個人のペースで生活されている。軽度の認知症の方は職員、ご家族ガイドヘルパーと買い物や散歩に行かれることもある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	お一人では出来ない趣味や、お好きな事(入浴、散歩など)を支援したり、普段行けない場所へのドライブや外食、夏祭りなどの催し事の時の表情は晴れやかに生き生きとされている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要介護度の高い方にはどうしても行き先が限定される。喜んでいただける場所といえは公園への散歩や近場への食事、ドライブくらいになってしまう。それ以外の方たちには職員、ご家族、ガイドヘルパーで連携し気軽に外出していただいている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療連携先の循環器科内科の担当医、看護師、管理栄養士、理学療法士と連絡を密に行い、状況の急変に対しても即座に対応できる体制をとっている。また、防災を含めた安全面でも、防火管理者の指示の元、訓練を始めとして万全の体制で安心して生活していただいている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り柔軟な支援を心がけているが、症状や健康状態により希望に添えない(食事、水分摂取など)場合がある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	入所時や面会時には、利用者を交えてご家族と話し合う機会をつくっている。ご家族のご相談にはチームで臨み信頼を頂くよう努めている。遠隔地や疎遠なご家族とのコミュニケーションが課題。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	病院の入院患者さんやご家族が、たまに、尋ねて下さったりするが地域の方たちとは夏祭りなど行事の時以外はあまり交流が無い。運営推進会議の委員の方たちにはきていただいている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地元開催の行事への参加を行い、また花見や夏祭りなどホーム主催の行事に参加いただくことにより理解者が徐々に増えている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者、その家族、職員同士の関係も概ね良好であり、それぞれ目的を持ち澁刺と働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての要望に応えられてはいない(また、応えるべきではない場合もあると思う)が、根幹的な部分では、ご満足いただけていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族への報・連・相は極力頻繁に行い、明るくオープンな雰囲気も喜んでいただいているように思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当ホームでは、利用者18名中16名(89%)が透析治療を受けている。
医療連携先の循環器科内科と緊密な連絡をとり、日々の体重、血圧、血糖値の管理など、健康状態に不安を抱える利用者に、安心して過ごしていただける環境を提供している。
職員15名中5名は看護師であり、各利用者の担当医師や病院看護師、管理栄養士、理学療法士との報告、連絡、相談も密に取っている。
ケアにおいては万全の体制と自負しているが、ケアとのバランスをどう置き、容態の安定と自立支援の両立を図る事を日々に課題としている。